

Over 70 years of Innovation

戦後復興の時代、高品質な制御機器の製造・販売を開始

高度経済成長の波に乗り、制御機器の総合メーカーへ

「人と機械の最適環境」を創造する多彩な製品を開発

「IDEC」へと社名変更グローバルカンパニーとしてさらなる成長を

IDECは、1945年に「和泉商会」として創業しました。ニーズに着目して開発した機械設備に欠かせない開閉器が産業界から高い評価を受け、ロングセラー製品となりました。石油コンビナートなどで活躍する防爆機器とともに、戦後復興のものづくりを支えました。

高度経済成長にともなう計測・制御技術需要の高まりを受けて、制御機器の総合メーカーへと転換しました。また、工場設備の自動化・機械化の進展により、電子・システム製品分野へ進出するとともに、企業規模の拡大と量産化への対応のため、海外に生産・販売拠点を設立しました。

ものづくりの現場は、人と機械が共存する環境が主流となったことから、安全確保のニーズに応える製品として、国内初となるイネーブルスイッチなどの製品開発を進めました。また国内外の拠点を拡大するとともに、主力工場である滝野事業所には、多品種変量生産を実現する自動化・省力化設備を導入しました。

創業60周年を迎えた2005年、「IDEC」へと社名を変更しました。2017年にはフランスのAPEM社を買収し、グローバルビジネスの拡大を進めるとともに、社会課題の解決に貢献する新規事業にも取り組んでいます。多様化する社会のニーズに、IDECの技術を活かしたソリューションでお応えし、100周年、さらにその先の未来に向かって成長を続けていきます。



設立当時の店舗



IDEC CORPORATION(米国)設立



滝野事業所に導入されたロボット制御セル生産システム



大阪、東京証券取引所の市場第1部に上場



当時の製造現場



創業者の松木 恒雄



ドイツ・ハノーバーメッセに出展



新社長方針発表会を開催し中期基本構想を発表



IDEC IZUMI ASIA PTE LTD.(シンガポール) 設立



創業40周年を記念した展示会で制御機器の幅広い製品を紹介



IDEC本社/技術研究センター



1945

1960

1980

2000

2010



SB形金属箱開閉器

速入速断機能を備えた画期的な製品で、IDECの礎を築いた。



小形コントロールユニット

小形化を図り、操作性、デザイン性、安全性に優れたロングセラーとなった。



耐圧防爆形コントロールボックス

爆発の危険性のある場所など、防爆機器を必要とする産業向けに発売。



コントロールユニットTWシリーズ

国際規格(IEC規格)に準拠した製品を開発し、現在も売れ続ける大ヒット製品となった。



プログラマブル表示器HDシリーズ

表示デバイスに液晶を採用して製品化。



Micro-1プログラマブルコントローラ

小形マシンの制御専用開発した超小形コントローラ。



安全関連機器

安全スイッチやイネーブル装置が加わり、安全関連機器のラインアップが拡充。



小形コントロールユニットLBシリーズ

スタイリッシュなデザインに加え、パネル奥行は業界最短胴と薄形な製品。



APEM製品

スイッチや表示灯、ジョイスティックなど、幅広いラインアップを展開。



プログラマブルコントローラFC6A形

遠隔監視・操作をはじめとする、多様なIoTの用途に対応。